

広報あつぎ

ことしも1年よろしくだBoo~!



編集・発行/厚木市政策部広報戦略課
〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17
TEL.046-223-1511(代) FAX.046-223-9951

2016 新年



青空に羽ばたけ

せんみ凧



澄み渡る冬空に、たくさんの方が気持ち良さそうに舞っています。たこ糸を手に元氣いっぱい走り回るのは、玉川小学校の子どもたちです。青空を泳ぐのは、玉川地区に伝わる、セミが描かれた「せんみ凧」。男児の成長を願い明治末から昭和30年ごろまで盛んに揚げられました。玉川小では、たこの由来の学習や材料となる竹の調達、作製などを通して、地域の伝統を学んでいます。「細かい作業が大変だったけど、頑張ったで作ったことを高く揚げたい」と佐藤風吹さん(6年)は2月のたこ揚げ大会に向け意欲満々です。

指導に当たるのは「玉川せんみ凧保存会」の皆さん。会長の前場政行さん(77・七沢)は「幼いころに揚げたせんみ凧や、たこ揚げの風景をこの地域に残していきたい。子どもたちに故郷の良さや特色を知ってほしい」と温かく見守ります。

玉川小では、毎年子どもたちが育てた食材で豆腐やうどんを作るなど、地域の協力を得た体験学習を展開しています。大人と子どもが学びを通してつながり合う地域に、ことしもせんみ凧が舞い上がります。



和紙の貼り付け方を指導する前場会長

玉川せんみ凧保存会

「失われつつある伝統を復活させたい」という思いから平成17年に発足。会員6人が10年にわたり玉川小をはじめ、市内で「せんみ凧づくり・凧揚げ大会」を開催し、地域の伝統を後世に伝えようと活動しています。

目次 こちらから	2・3面 飛躍の年へ	4・5面 新春対談・スポーツで夢あるまちに	6・7面 タウンガイド
	スポーツや文化芸術など、さまざまな分野で熱い思いを持って活躍する「熱気人」の皆さんを紹介するとともに、活動への思いやことしの抱負を伺います。	昨年11月、学校法人日本体育大学と「体育・スポーツ振興に関する協定」を締結しました。理事長の松浪健四郎さんと小林市長が選手育成などについて語り合いました。	催し・講座・子育て・募集・お知らせなど、暮らしに役立つ便利な情報が満載。



厚木中学校 ボランティア活動部

●プロフィール 部員数38人。平成25年創部。27年10月、米国最大級の金融機関「プルデンシャル・ファイナンシャル」が実施する青少年対象のボランティア支援制度「第19回ボランティア・スピリットアワード」の「首都圏ブロック賞」に選出される。

赤、黄、青、ピンク。厚木中学校前の歩道の花壇に、色とりどりのパンジーやジュリアンが咲いています。約一千株の花を植えたのは、厚木中学校ボランティア活動部の皆さんです。「この色はここに植えるのがきれい」「この種類は向こうの花壇にしよう」などと意見を交わしながら丁寧に花を植える姿に、道行く人も「きれいだね」「苦労さま」と声を掛けます。

学びながら、地域のために

「活動を重ねていくうちに、部員の意識が変わってきたと思います。先生に言われたことをやるだけでなく、自分たちでより良い活動をしようにとアイデアを提案できるようになってきました」と話します。顧問の白石透さん(6)は「幅広い世代の方と交流すること、社会性が豊かになるはず。周りに認められる喜びや、ボランティアが人のためだけでなく自分のためになることを知ってほしい」と子どもたちの成長に期待を寄せています。「自分たちも学びながら、地域のためになることが部の目標」と話す水津さん。「卒業する3年生が進学先でもボランティア活動を展開するなどして、どんどん取り組みを広がってほしい」と意気込みます。地域の一員として、精力的にまちづくりに関わる生徒たちの取り組みは、ことしも一層輝いていきます。

飛躍の

新しい年を迎え、ことしの目標や夢に志を新たにしている方も多いのではないのでしょうか。私たちのまちには、スポーツや文化芸術などさまざまな分野で、熱い思いを持って活躍する人たちがいます。今回は、そんな「熱気人」の皆さんから、さらなる飛躍の年に向け、ことしの抱負を伺います。

お腹から背中までつながる大きなチャックは四ニットの道具やサゲが出てきたり、ある時はかまくらや熱気球になっていたりと、その奇想天外さに当の本人も困惑しているという不思議なキャラクター「チャックま」が人気を集めています。描いたのは、大泉智行さん。昨年は市内で3回にわたり展覧会を開催し、好評を博しました。イラストレーターとしての出発は5年前。「自由にイラストやデザインの仕事がしたい」という若いころから温めてきた夢を実現する決意を固めると、キャラクターの考案に取り組みました。インパクトを付けようと思案中、雑貨店に飾られたかばんの大きなチャックが目につきました。「チャックま」がひらめきました。市内の飲食店や雑貨屋など、さまざまな場所に足を運び、

クリエイターのつながりを

知り合いを増やすことを大切にしている大泉さん。新しいキャラクターの考案やイベントの企画など、次の展開へのアイデアをもちょうともあります。昨年5月には厚木と周辺エリアのクリエイターを紹介するフリーイベントを開催し、作品やイベントを掲載することでクリエイター同士の交流を図りながら、一般の人が見ても楽しめる冊子にしようと隔月で発行しています。「発表の場や仲間を求めて、どうしても都心に集中しがちなクリエイターを、この冊子を活用して呼び込みたい。地域活性化にもつながればうれしい」と話す大泉さん。「ことしもいろいろなお人との出会いに期待したい」と声を弾ませます。春にはまた、あつぎ市民交流プラザで展覧会の開催を予定。「チャックま」と大泉さんの冒険は、始まったばかりです。



イラストレーター 大泉智行さん

●プロフィール 昭和41年横須賀市生まれ、温水西在住。ペンネーム「Tomoart(トモアート)」で活動。平成23年5月、東京都で開かれた「第一回 美華展」で自作のキャラクター「チャックま」を発表。24年4月以降は市内でもたびたび展覧会を開催している。

「将来は、厚木を代表するアーティストになりたい」。そう力強く話すのは、軽快なラップのリズムに自作の詞を乗せ、聞く人を魅了するミュージシャン、SALUさんです。12月に開催された「あつぎミュージックフェスティバル」に出演し、厚木のまちを歌った新曲「AFUR」を披露しました。初めての厚木でのライブに「いっか出たい」と思っていたので、こんなに早く実現してうれい。市民の皆さんに知ってもらい「一歩になった」と喜びます。ヒップホップの世界を目指したのは、13歳の頃にラジオで聞いたアーティストの曲がきっかけでした。その音楽性に引き付けられ、レコーダーに曲を録音して自分の声を重ねるなどしながら、独学で技術を磨きました。

厚木を代表するアーティストに

遊んでいるうちに、土地と人柄に引かれました。「熱い志と温かみのある人々に出会い交流するうちに自分もその一員になりたいと思うようになった」と当時を振り返ります。その後も厚木に住み続け、24歳でファーストアルバムを発売。翌年にはメジャーデビューを果たすなど、本格的な音楽活動の発進も厚木となりました。現在は、春に発表する新しいアルバムを制作中。「厚木で歌う機会を増やしたい」と精力的に活動を展開します。つらい時、音楽に助けられてきた経験から、歌詞のテーマは「生きる」こと。等身大の目線で書いた詞は多くの人の共感を生んでいます。「若い才能に光が当たるのが難しい世界で、自分のような若者に夢を与えられるように」と、SALUさんの躍進はことしも続いていきます。



アーティスト SALUさん

●プロフィール 昭和63年北海道生まれ、市内在住。トイズファクトリー所属。平成24年にファーストアルバムをリリース。25年にメジャーデビューを果たし、26年には札幌・名古屋・福岡・大阪・東京で単独ライブを開催。厚木のまちを歌った新曲「AFUR」が配信。

厚木で輝き、厚木から羽ばたく

年へ

あつぎ 元気Wave CATV 1/1~放送 熱気人の活躍を紹介

放たれたシュートの方向を瞬時に判断し、体を張ってゴールを守るキーパー。田中桃子さんは、女子サッカークラブ「FC厚木ガールズ」出身のサッカー選手です。現在は「日テレ・ベレーザ」の下部組織で、大儀見優季選手も在籍していた「日テレ・メニーナ」に入団し、背番号1を任されています。昨年、16歳以下のサッカー女子日本代表として選ばれ、初めて日の丸を背負って戦いました。「選出されたことはうれしかったけれど、優勝できなかったので悔しい」と代表戦を振り返る田中さん。技術で勝っても、体格差で競り負けるなど世界のレベルの高さを肌で感じました。敗れた決勝戦では「相手チームの方が勝利への気迫が上回っていた」と課題が見えた貴重な経験となりました。小学2年生からFC厚木ガールズに所属した田中さん



サッカー選手 田中桃子さん

●プロフィール 平成11年厚木生まれ、妻田西在住。日テレ・メニーナ所属。27年10月、16歳以下のサッカー女子日本代表として「AFC U-16女子選手権中国2015」に出場。リーグ戦2試合と、決勝戦でゴールキーパーとしてスタメン出場し、チームを準優勝に導いた。

なでしこジャパンの一員に

は、4年生からキーパーを任されるようになりました。自由に動ける他のポジションをうらやましく思うこともありましたが、ピンチを防ぐことで試合の流れが変わり、チャンスを引き寄せられることにやりがいを感じるようになりました。日テレ・メニーナでは、攻め込まれた時に迷わず積極的にボールに向かって行けるよう、ほぼ毎日都内で練習に励んでいます。なでしこジャパン入りに期待が寄せられる選手として、FC厚木ガールズのメンバーたちからも背中を追い掛けられる存在になった田中さん。「将来はなでしこジャパンの一員として、世界の舞台で活躍したい。私がゴールを守ることで、皆が安心してプレーできるような選手になりたい」と力強く話します。世界を見据え着実に歩みを進める姿は、希望に満ちています。



プロフィール PROFILE

松浪健四郎さん (69)

昭和21年10月14日生まれ。大阪府出身。日本体育大学武道学科に進学し、柔道からレスリングに転向。全日本学生チャンピオンや全米チャンピオン、メキシコ五輪代表選手候補になるなど活躍。アフガニスタン国立カブール大学講師、専修大学教授を歴任。平成8年に衆議院議員に初当選し3期務める。元文部科学副大臣。日本レスリング協会副会長。スポーツ人類学者。

「アスリート育成の第一歩は、スポーツ好きにすること」



日本のトップ選手が汗を流す体操競技館



一流の指導者が選手の競技力を強化



豊富な設備を誇るトレーニングセンター



体操金メダリストの具志堅幸司さんが講義

日本体育大学 體

明治24年、母体となる日本体育会創設。昭和24年、日本体育大学設立。建学の精神「體育富強之基(真に豊かな国家・社会を実現するためには、体育・スポーツの普及・発展を積極的に推進し、健全な心身を兼ね備えた全人格的な人間を数多く育成することが肝要で

ある)」を追求する体育・スポーツの総合大学。【キャンパス】世田谷、横浜【学生数】大学=6317人、大学院=110人【五輪メダルの獲得数】119個(団体含む)【主な五輪選手(夏季)】内村航平、森末慎二、田中理恵(体操)、古賀穂彦、谷亮子(柔道)、有森裕子(陸上)、川合俊一(バレーボール)、川澄奈穂美(サッカー)、北島康介(水泳)、山本博(アーチェリー)など ※敬称略

育てよう 世界で輝くアスリート
スポーツで夢あるまちに
2016 新春対談
学校法人日本体育大学理事長 松浪 健四郎さん
厚木市長 小林 常良
TSUNEYOSHI KOBAYASHI

厚木市出身の選手がオリンピックの大舞台で活躍——。私たち市民が、みんなで共有できる夢ではないでしょうか。市では世界で輝けるアスリートを育てるため、昨年11月に学校法人日本体育大学(以下、日体大)と「体育・スポーツ振興に関する協定」を締結しました。今回の新春対談では、理事長の松浪健四郎さんを迎え、夢の実現に向けた思いや取り組みについて語り合います。

県内初! 体育・スポーツ振興に関する協定

- 【協力内容】①学校・施設での教育・研究、課外活動②教職員の交流、指導員の派遣③学生・生徒の交流④行事・イベントの実施⑤施設の利用
【実施予定事業】①元五輪選手や学生などによる競技別の技術向上教室(中学生対象)②最新スポーツ施設の体験や元五輪選手などによる講義を盛り込んだサマーチャレンジ教室(小学生対象)③指導者講習会やスポーツ講演会
圏スポーツ政策課 ☎225-2531



市長 明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。
ことしは、ブラジル・リオデジャネイロでオリンピック・パラリンピック(以下、五輪)が開催され、世界中がスポーツの話題に沸くことでしょう。そして、東京五輪の開催までは、あと4年となります。そこで、スポーツ人類学者でもありの松浪理事長をお招きし、お話しを伺いたいと思います。

オリンピックを見据えて

市長 これはオリンピックイヤーですね。日体大の学生や出身者も、数多く出場されるのではないのでしょうか。そして、国内では2019年にラグビーワールドカップ、20年の東京五輪とビッグイベントが続きますね。
松浪 そうですね。今は国の体制を充実させ、国民の意識を高めていかなければならない時期です。5年前にスポーツ基本法が施行され、昨年10月には国のスポーツ政策の司令塔となるスポーツ庁が発足しました。こうした動きの真の目的は、国民の健康づくり、体力強化に尽きます。その先に、選手の強化が見据えられているのです。

市長 五輪への機運が高まる中、厚木市では、ジュニア世代の育成、指導者の養成、スポーツ人口の拡大の三つを柱とした「あつぎスポーツアカデミー事業」を展開しています。そして今回の協定は、さらなるスポーツ振興とアスリート育成の大きな力となります。協定締結式で松浪理事長は「厚木市は世田谷に大学のキャンパスを持つたと思ってください」という言葉を掛けてくださいました。その言葉に私は大きな励ましを受け、同時に強い高揚感を覚えたものです。

協定で進めるスポーツ連携

市長 日体大といえば、言うまでもなく、一流の選手を多数輩出している日本を代表する体育大学ですね。
松浪 大学はこし創立125周年を迎えます。建学の精神(上欄参照)を体現し、最終的には世界平和のためにスポーツを普及させようと、国境を越えた指導や交流も実践しています。

市長 大学の設備はとても充実しているとお伺いしました。
松浪 スポーツに必要な設備であれば、何でもそろっていると一言でも過言ではないでしょう。
市長 今回の協定では、そのトップ

「夢は厚木出身の五輪選手を育てること」



レベルのスポーツ設備や、一流選手と交流ができる体験入学、ジュニア世代の選手強化、指導者の養成などで連携させていただくことになりまして。日体大は、既にいくつもの自治体と同様の協定を締結されているそうですね。
松浪 はい。大学の設備や人材を活用した競技方向上プログラムはもちろんですが、それぞれの自治体を持つ特長に合わせた取り組みをしています。例えば自然豊かな自治体では、学生が環境保全活動の一環として間伐を手伝い、地元の人々と交流しています。

市長 そういった連携は素晴らしいですね。ところで、日体大から厚木市に期待するところはありますか。
松浪 神奈川県内では初めての協定で、本学と近いことは大きな特長だと考えています。本学には学生たちが一糸乱れぬ動きで歩行する「集団行動」という名物があるのですが、合宿や練習の場として市内の施設を使わせていただくと助かります。市民の皆さんに練習を見学してもらうこともできま

すし、見た人が運動に興味を抱くきっかけにもなると思います。
市長 協定を結んだからには、さまざまな取り組みで連携を取っていきたくて思っています。集団行動の様子を間近で見られる機会は、市民にとってとても魅力的なことです。

「好き」がアスリートへの第一歩

市長 私は、厚木の地から五輪選手を育てたいという強い思いを持っています。選手の育成に大切なことはどんなことでしょうか。
松浪 まず、スポーツを好きになつてもらうことが第一です。運動への興味を高めることから各種目への適性の見極め、指導者の資質が問われるところでもありますが、さらに五輪種目に限らず、日本の武道などいろいろなスポーツに挑戦できる場をつくることもとても大切ですね。

市長 なるほど。「好きこそ物の上手なれ」と言いますものね。
松浪 そうですね。子どもの時の競技レベルが高いからといって、将来一流になれる保証はどこにもありません。ある時、急に強くなる選手もいます。選手強化にこれだという方程式は存在しません。水泳や体操、新体操などは幼少時からやらないと間に合いませんが、どの種目でもまずは競技を好きになることが出発点なのです。

市長 すると私がすべきことは、子どもたちがやりたいスポーツをできる環境を整えておくことですね。選手が



対談では今後の連携を確認



テレビ番組でも紹介される集団行動

競技を好きになれるよう導ける、有能な指導者との出会いも重要ですね。
松浪 本学の人材を活用することもできますが、さまざまな経験を持つ市民の皆さんの力を借りることも大切だと思います。地域の人材の掘り起こしには、ぜひとも継続して力を入れていただきたいと思っています。

スポーツの持つ可能性

市長 松浪理事長はこの協定で、市民の健康増進への貢献もお考えと伺いました。
松浪 昔から「風邪は万病の元」と言われますが、今は「運動不足は万病の元」となっています。そのため、運動をしようという社会の雰囲気づくりが重要ですね。運動する習慣づくりに、本学がお手伝いできればうれしいです。

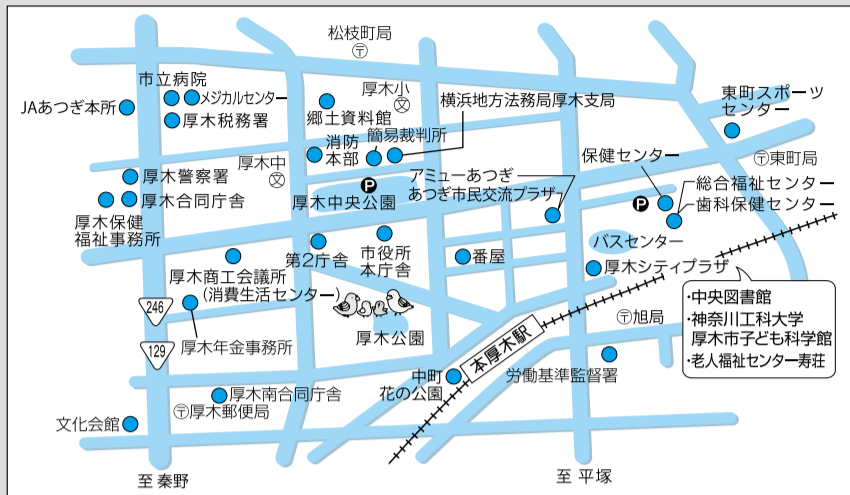
市長 高齢社会における重要なテーマである市民の健康づくりに、スポーツが果たす役割と可能性は大きいですね。健康寿命を延ばす取り組みでも連携させていただき、厚木市をより健康な都市にしていきたいです。
市長 そうですね。冒頭に申し上げた通り、こ

としてはオリンピックイヤーです。人々に大きな感動を与えるスポーツの力とは何でしょうか。
松浪 スポーツは政治、経済、宗教を超え、全ての人が同じルールで競い、同じ価値観を共有できる数少ない文化です。その力をまっすぐに生かそうと考えた時、20年の五輪を活用しない手はありません。厚木市は、東京に近い立地が魅力の都市です。参加国の一つがキャンパスをすることになれば、国際交流の機会を増やすことにもつながります。ぜひ、市民一丸となって誘致活動を展開してほしいですね。

市長 スポーツは平和への架け橋にもなります。私たちがスポーツ施設を練習会場として提供できるよう充実させ、参加国の誘致を進めていきたいと思っています。もし誘致ができれば、精一杯のおもてなしをして、深い友好関係を築けるよう交流していきたいです。
松浪 それがスポーツの持つ大きな可能性なのだと思います。ぜひ、実現してください。

市長 頑張ります。今日はアスリート育成から健康づくり、国際交流など、貴重なお話を聞かせていただきました。協定を意味のあるものにしていくためには、お互いに知恵を出し合っ

タウンガイド



1月						
日	月	火	水	木	金	土
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2月						
日	月	火	水	木	金	土
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					

マイタウンクラブ
 〇印の番号で、ウェブ上から詳しい情報をご覧いただけます。「〇印」と記されたものは、申し込みもできます。
www.mytownclub.com

Gポイント
 G印は、あゆこちゃんGENKIポイント「Gポイント」の対象事業です。数字分のポイントが付与されます。

市制60周年記念事業

あつぎ青春劇場

①1月16日、15時～16時。唄う！青春劇場カラオケ大会（ゲスト・椿はる奈）。アミューあつぎ9階。定員100人。500円 ②1月23日、11時～12時30分。落語会（出演・春風亭朝也）。アミューあつぎ9階。定員100人。500円 ③1月9日、12時30分～15時30分。オカリナコンサート。あつぎ市民交流プラザ。無料。
 いずれも申し込みは、当日直接会場へ。先着順。☎商業にぎわい課☎225-2840。G1

あつぎいちごフェア

1月16日、9時30分～。夢未市（温水255）。イチゴの即売会や食べ比べ、品評会など。☎当日直接会場へ。☎農業政策課☎225-2801。G1

森林づくり体験教室「木こり体験・シイタケ栽培」

2月13日、9時～16時。七沢地区の森林。シイタケ栽培の原木「ほだ木」作り（ほだ木は持ち帰り）や間伐体験。6歳以上の方40人（小

学生は保護者同伴）。860円（材料費）。昼食持参。☎直接、電話またはハガキ、ファクスに参加者全員の〒住所、氏名、年齢（学年）、電話番号を書き、1月23日（必着）までに〒243-8511農業政策課☎225-2810・FAX223-0174へ。抽選。
 〇印 ☎152589

市民防災研修会

1月17日、10時～12時。文化会館。災害に備えた地域活動について、長野県白馬村の元防災組織会長が講演。定員1000人。無料。☎当日直接会場へ。☎危機管理課☎225-2190。G1

斎場施設見学会

1月18日、①10時30分～②13時30分～。斎場（下古沢548）。施設の見学と葬儀の説明。定員各回30人。無料。☎1月4日～17日に市斎場☎281-8595へ。先着順。G1

サイエンスカフェ第5弾

2月18日、14時30分～16時30分（受け付けは14時～）。オークラフ

ロンティアホテル海老名（海老名市）。「肉食と健康」をテーマに東京農業大学教授が講演。定員30人。1000円（飲み物・茶菓子代）。☎電話またはファクス、Eメールに講座名、〒住所、氏名、電話・ファクス番号、Eメールアドレス、参加人数を書き、2月4日までに厚木地区食品衛生協会事務局☎・FAX222-7643・e-mail=afha@h9.dion.ne.jpへ。抽選。

歯と歯ぐきの健康相談

1月26日、9時30分～11時30分。保健センター。歯磨きや口腔の悩み相談に歯科衛生士が対応。無料。☎当日直接会場へ。☎健康づくり課☎225-2201。G5

認知症サポーター養成講座

1月26日、13時30分～15時。JAあつぎ本所。認知症サポーター養成講座と介助犬の紹介。市内または清川村在住の方30人。無料。☎1月5日～20日にJAあつぎ指導販売部☎225-7716へ。先着順。

小児・乳児への応急手当 普通救命講習会

2月5日、13時30分～16時30分。陸合分署（三田1475-1）。小児・乳児への心肺蘇生、大出血時の止血法、自動体外式除細動器（AED）の取り扱いなどを学ぶ。市内在住在勤在学の中学生以上の方30人。無料。託児あり（定員6人、要予約）。☎1月14日までに救急救命課☎223-9365へ。抽選。〇印 ☎141758 G5

防火管理資格取得等講習（甲種・乙種）

2月18・19日（全2回）、9時～17時。陸合分署（三田1475-1）。市内在住在勤の方70人。4650円（テキスト代）。☎6カ月以内に撮影した縦4センチ×横3センチ写真（無背景、無帽、正面、上半身）の裏面に氏名を書き、申込書を添えて1月12日～15日に直接、予防課☎223-9370へ。先着順。G1

体育協会のスポーツ教室

■レベルアップソフトボール教室

2月14日、9時～15時。及川球場（及川1-17-1）。初・中級者向けの技術講習。市内在住在勤在学の小学生以上の方100人。500円。〇印 ☎152573

初心者柔道教室

2月14・21・28日（全3回）、9時30分～11時30分。東町スポーツセンター。基礎技術の講習。市内在住在勤在学で4歳以上の方50人。800円。〇印 ☎152574

いずれも申し込みは、ハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を書き、1月15日（必着）までに〒243-0039温水西1-27-1市体育協会☎247-7212・FAX248-7151へ。抽選。

「食の安全」講演会

2月1日、13時30分～15時30分。厚木商工会議所。「テレビでは放送できない食品表示のウソ・ホント」をテーマに専門家が講演。定員100人。無料。☎直接または電話で、消費生活センター☎225-2155へ。抽選（連絡がなければ参加可）。手話通訳あり。〇印 ☎152581 G5

児童館指導員（臨時職員）募集

《対象》18～65歳の健康で子どもの健全育成に熱意のある方若干名《勤務内容》児童館を利用する子どもの指導育成、施設管理など《勤務場所》市内37児童館のうち、通勤できる範囲内の児童館《勤務時間》月15日程度で10時～17時の開館時間のうち平均4時間程度（通常1人勤務で複数名のシフト・ローテーション制）《期間》4月1日～9月30日（更新可）《賃金》時給940円（土・日曜、祝日は1269円）。☎市販の履歴書に写真を貼り、2月2日（必着）までに直接または郵送で〒243-0018中町1-1-3青少年課☎225-2581へ。2月8・9日の午前中に面接を実施予定。

かなテクカレッジ 2016年4月生募集

《対象》職業に必要な知識・技術・技能を習得して、職業に就こうという意志がある方《実施校》かなテクカレッジ東部（東部総合職業

街の話題

おんぶで走ってギネス達成

「おんぶで100リレー」でギネス世界記録に挑戦

市制60周年を記念して11月21日、おんぶで100人をリレーしてギネス世界記録に挑戦するイベントが荻野運動公園で開催されました。当日は夫婦や親子、友人同士など357組714人が参加し、約5時間の挑戦の末見事全組が完走、ギネス世界記録達成を果たしました。

記録達成基準となる250組目の走者を務めた渡邊祥汰さん（38・水引）は「記録達成基準となる組を任されてとても緊張した。市制60周年の記念イベントに家族と参加できて、自分たちにとっても記念になった」と喜んでいました。

市では60歳の成人式「60歳実年式」やGPSの軌跡で厚木の街に巨大なあゆこちゃんを描く「みんなで描くマップアート」を実施するなど、市制60周年を市民の皆さんと最後まで盛り上げていきます。



おんぶでトラックを駆け抜ける親子

成人式「はたちのつどい」

百花繚乱～咲き誇れ厚木人～



日時
 1月11日（月）
 11時～12時
 （10時15分～受け付け開始）
 会場
 文化会館

内容 式典・アトラクション（ビデオレター、合唱など）
 ※当日は、送付した招待状（チケット）をお持ちください。飲酒などの迷惑行為や酒類・危険物の持ち込み、迷惑車両の駐車などは固くお断りします。守られない場合、退場をお願いすることがあります。G1

☎青少年課☎225-2580

技術校 ☎045-504-2810)、かなテ
クカレッジ西部(西部総合職業技
術校 ☎0463-80-3002)《募集コース》
機械(※旧名称マシニング&CAD/
CAM)、機械CAD、電気、溶接・
板金、造園、室内施工、介護調理
など(実施校によって異なる)《選
考方法》学力検査と面接《選考日》
2月21日《募集案内》各校・ハロー
ワークなどで1月上旬から配布。
☎ハローワークで事前手続後、1
月12日~2月8日に直接または郵送
で各校へ。1月16日にながわ県
民センター(横浜市)で募集説明
会を実施。☎県産業人材課 ☎045-
210-5715。

出生届記念証の贈呈サービスを開始

1月1日以降に出生届を提出する
方に、出生届の複写をファイルに
入れて贈るサービスを開始しま
す。希望する方は、市民課や本厚
木・愛甲石田駅連絡所、公民館に
ある申請書(市ホームページから
ダウンロード可)に必要事項を書
き、出生届と共に直接、市民課に
提出してください。夜間や休日に
申請した場合、記念証は後日贈呈
します。公的な証明書ではありませんので、必要な方は出生届受理
証明書を申請してください。☎市
民課 ☎225-2113。

悪臭防止法に基づく規制を変更

2月1日から、事業活動に伴い発
生する悪臭の規制方式を変更しま
す。これまで、アンモニアなど22
種類の特定悪臭物質のみを対象と
していましたが、変更後は全ての
物質が規制の対象となります。事
業者の方は、事業所の点検など外
部への悪臭の発生を防ぐ取り組み
をお願いします。詳しくは、市ホ
ムページをご確認ください。☎生
活環境課 ☎225-2752。

子宮頸がん予防ワクチンな どの接種を受けた方へ

平成25年3月31日までに、市町
村の助成により、子宮頸がん予防
ワクチン、ヒブワクチン、小児用
肺炎球菌ワクチンのいずれかを接

種した方のうち、接種後に何らか
の症状が生じ医療機関を受診した
方は、接種との関連性が認定され
ると、医療費・医療手当が支給さ
れる場合があります。心当たりの
ある方は、請求方法などについて
至急お問い合わせください。☎独
立行政法人医薬品医療機器総合機
構・救済制度相談窓口 ☎0120-149-
931。利用できない場合は ☎03-
3506-9411 (有料)。

市税条例の一部を改正

平成27年度地方税法の改正によ
り「地域決定型地方税制特例措置」
の対象資産が拡充されたため、市
税条例の一部を改正しました。
《改正内容》①都市再生緊急整備
地域で、都市再生特別措置法に基
づき管理協定が締結された備蓄倉
庫=固定資産評価額を2分の1に軽
減②都市再生緊急整備地域で、都
市再生特別措置法に基づき認定事
業者が取得する公共施設など=固
定資産評価額を2分の1に軽減③新
築のサービス付き高齢者向け賃貸
住宅=固定資産税額の3分の2を減
額。☎資産税課 ☎225-2031。

国民年金の加入手続き

60歳未満で会社などを退職した
方は、厚生年金から国民年金への
切り替えが必要です(扶養する配
偶者を含む)。☎退職日が分かる
書類または社会保険資格喪失証明
書、年金手帳、身分証明書をもち、
国保年金課 ☎225-2121へ。

厚木愛甲ごみ処理広域化実施計画・ごみ中間 処理施設整備基本計画のパブリックコメント

厚木市、愛川町、清川村の3市
町村で構成する厚木愛甲環境施設
組合では、ごみの広域処理の取り
組みを定めた広域化実施計画の内
容を一部変更するとともに、中間
処理施設の整備に必要な基本計画
を策定します。計画について、皆
さんの意見をお聞かせください。
《募集期間》1月5日~2月5日。詳
しくは、組合ホームページ([http://
www.h7.dion.ne.jp/~atsuai-k](http://www.h7.dion.ne.jp/~atsuai-k))を
参照するか、組合事務局 ☎297-
1153にお問い合わせください。

あつぎ 元気Wave 1月の広報番組 **ガイド**

ケーブルテレビ
あゆチャンネル(11ch)
放送時間(15分) ①12時~②19時30分~③22時45分~ ※内容や時間を変更する場合があります。

1月1日~15日 ◆飛躍の年へ
「SALU」と厚木中学校ボランティア活動部の活躍を紹介

番組はホームページ動画配信 あつぎ元気Wave 検索 CATV放送開始後に配信

消防出初め式

日時 1月10日(日)、10時~
会場 荻野運動公園駐車場(荒天時は屋内)
内容 古式消防保存会のまとい振り込み、はしご乗り、消防部隊などによる消防演技、市内事業所・消防団による消火演技、一斉放水など。
※当日は7時にサイレンが鳴りますが、火災とお間違いないようお願いいたします。
☎警防課 ☎223-9368 G1 古式消防保存会の「はしご乗り」

労働基準監督署が移転

厚木労働基準監督署が移転しま
す。《移転日》1月12日《移転場所》
厚木Tビル5階(中町3-2-6)。移転
後は庶務・会計関係 ☎401-1640、
監督・労働条件 ☎401-1641、安全
衛生関係・労災保険関係 ☎401-
1642・☎401-1643に電話・ファク
ス番号が変更になります。☎厚木
労働基準監督署 ☎401-1643。

相続税のことは 国税庁ホームページへ

相続税の仕組みの解説や、申告の
要否判定ができるコーナーを掲載
しています。ぜひご利用ください。
《国税庁ホームページ》[http://www.
nta.go.jp](http://www.nta.go.jp) ☎厚木税務署 ☎221-3261。

学資支援金(網走市)を給付

友好都市の網走市にある東京農
業大学生物産業学部の入学者に学
資支援金を給付します。
《対象》平成28年4月の入学が決
定した方を養育する市内在住の保
護者《給付予定額》10万円(入学
辞退や取り消しがあった場合は返
還)。☎電話で受験番号、氏名、
出身高校を東京農業大学生物産業
学部学生教務課 ☎0152-48-3813
へ。給付者は、学内で審査・選考
し決定します。

みんなの声で ちやま

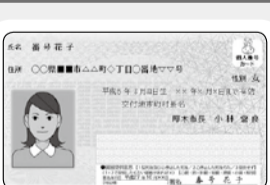
《パブリックコメント》
■人口ビジョン、まち・ひと・し
ごと創生総合戦略の策定
《閲覧期間》1月8日~2月12日《閱
覧場所》企画政策課窓口、市政情
報コーナー、公民館、本厚木・愛
甲石田駅連絡所、総合福祉セン
ター、中央図書館、あつぎ市民交
流プラザ、市ホームページ《応募
資格》市内在住在勤在学の方また
は市内で活動する個人・法人・団
体《応募方法》閲覧場所にある用
紙を備え付けの「わたしの提案」
箱に投函するか、直接または郵送、
ファクス、Eメールで ☎243-8511
企画政策課 ☎225-2455・☎225-3732・
e-mail=1100@city.atsugi.
kanagawa.jpへ。

あつぎ健康相談ダイヤル24
健康相談・医療機関情報(救急含む)
さわやか1番 よいこころ
☎0120-31-4156
◎発信者番号は通知設定でおかけください

12月15日発行の広報あつぎ4面
の記事に一部誤りがありました。
パブリックコメント「第2次健康
食育あつぎプランの策定」の正し
い閲覧期間は、1月5日~2月4日
です。☎健康医療課 ☎225-2174。

個人番号カードの受け取り方法

- ①住民票の世帯ごとに送付される「個人番号カード交付申請書」に必要事項を書き、郵送またはスマートフォン、パソコンで申請。
- ②後日送付される交付通知書に記載する期限までに、必要な書類を持ち、交付窓口へ(交付窓口は通知書に記載)。
●必要書類 交付通知書、通知カード、本人確認書類(※)
※住民基本台帳カード(写真付きに限る)、運転免許証、旅券、身体障害者手帳、特別永住者証明書など
- ③交付窓口で本人確認。暗証番号を設定後、カードを交付。



個人番号カード

●代理人への交付について●
本人が病気や身体の障がいなどで、交付窓口に来ることが難しい場合に限り、代理人に受け取りを委任できます。申請方法など、詳しくはお問い合わせください。

☎市民課 ☎225-2039

まだ間に合う! 応募しよう!

あゆコロちゃんGENKIポイント

健康づくりをして貯めたポイントで、物産や温泉入浴券などの特典が当たる「あゆコロちゃんGENKIポイント」。2月15日に終了しますので、ポイントを貯めて応募しましょう。

~ポイントを貯めるには~

- ★健診・検診、予防接種を受ける=10ポイント
- ★市が主催するイベントに参加する=5ポイントまたは1ポイント
- ★自分で決めた健康・食育に関する目標に取り組む=1ポイント

※詳しくは、保健センターなどにあるリーフレットやポイントカード、市ホームページをご確認ください。

《応募方法》保健センター、公民館などにあるポイントカードに必要な事項を書き、2月19日までに各公共施設にある専用の応募箱に投函
《対象者》市内在住在勤在学の20歳以上の方
※40歳以上の方は、1回目応募時に健診・検診などが必須

☎健康医療課 ☎225-2174

議会改革の推進を目指して



厚木市議会議長 **越智 一久**

市民の皆さま、希望に満ちた輝かしい新春を、お迎えのこととお喜び申し上げます。日頃から、議会運営に対しましてご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

現在、地方議会は、地方分権の進展により、市民に一番身近な議会として、果たすべき役割はますます重要なものとなっております。

厚木市議会では、議会改革を積極的に進めており、昨年、閉会期間のない通年会期制の導入や、議会の最高規範と位置付ける

議会基本条例の制定をいたしました。通年会期制の導入により常に議会が開ける状態となりましたので、市議会としても緊急的な行政課題に迅速に対応してまいります。

また、議会改革の取り組みとして開催している議会報告会では、市民の皆さまとの意見交換を引き続き実施してまいります。この他、昨年11月には、私から議会運営委員会に、議会の評価やICT化の推進など5項目を諮問し、検討を進めております。

これからも安全、安心で活力と思いやりのある、より豊かな地域社会が実現するよう、市行政とともに全力を尽くしてまいります。今後も、皆さまのなご一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が皆さまにとりましてより実り多き年になりますよう祈念いたしまして、新年のあいさついたします。



市民朝市の様子をレポート



森林セラピーを体験



秋には稲刈りを体験

「あなた」が伝える！
「あつぎ」の魅力！！
募集
市民リポーター

市内のさまざまな場所に出掛けて、身近な話題や市からのお知らせなどを伝える市民リポーターを募集します。市民ならではの視点で「あつぎ」の魅力を発信してみませんか。

☎広報戦略課 225-2040



募集要領

対象 市内在住に勤在学で18歳以上の方20人程度（経験の有無は問いません）

任期 4月1日から2年間
申請 市販の履歴書に必要事項(志望動機必須)と優先したい活動内容(右欄参照)を書き、2月10日(必着)までに直接または郵送で〒243-8511広報戦略課へ。書類選考後、オーディション(2月21日実施)の詳細などを通知します。

あつぎ 元気Wave

CATV 1/1~放送



酒造業者に味の特長を伺う



農家でブロッコリーを収穫

活動内容

- ✓リポーター=市の広報番組などのレポート
 - ✓モデル=広報紙やガイドブックなどの写真モデル
 - ✓記者=行事の取材やマスコミへの情報提供など
 - ✓カメラマン=行事や風景の撮影(写真、映像)
- ※時間や内容に応じた報酬あり(2000円~5000円)

「広報あつぎ」では、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは(株)相鉄エージェンシー ☎045-450-1804へ。